瞳を輝かせて
Brilliant Eyes

厳しい勝負の世界で夢を追う

挫折を乗り越え、夢の騎手デビュー

持原　大志さん（東山）

勝負服に身を包んで競走馬を乗りこなし、多くのファンの夢や期待を背負い勝利を目指すジョッキー（騎手）。今回は、挫折を乗り越え騎手になる夢をかなえた持原大志さんを紹介します。

平成20年1月に名古屋競馬場で騎手デビューした持原さん。馬に興味を持ったのは4歳のころでした。「遊びに行った豊田市内の牧場で、馬に触れて遊ぶうちに、その可愛らしさに心引かれました」と話します。高校卒業後、馬に携わる仕事に就きたいとの思いで、厩務員や騎手を目指す専門学校、TGF養成スクールに入学。そのオーナーからの「君は騎手に向いている」というアドバイスが、騎手を目指すきっかけになりました。

▶▶▶プロフィール

もちはら・たいし　昭和59年生まれ。身長158.6㎝、体重48.0kg。所属厩舎：野島三喜雄厩舎。服色：青・白のこぎり歯型。デビュー：平成20年1月13日名古屋競馬場。初騎乗馬：ケリーケリー号。好きな騎乗法：先行。趣味は音楽鑑賞。

持原騎手「関係者の皆さんに信頼され、そして何といってもファンの皆さんの期待に応えられる騎手になれるように頑張ります。応援よろしくお願いします」

騎手は厳しい体重管理が求められる職業。騎手免許が取得できる栃木県の競馬教養センターを受験するために、自分の体の成長に反し5キロほどの減量が求められました。その後、過酷な減量に耐え、なんとか入所。しかし、体重管理に苦しみ卒業まであと半年のところで退所を余儀なくされました。「退所後しばらくは精神的に落ち込み、中途半端になってしまった自分が嫌でした。でも自分が一番好きな馬との生活を捨てる人生は自分には考えられませんでした」。

その後、力仕事のアルバイトや運送会社で働きながら体力維持に努めた持原さんは、再び騎手を目指すことを決意。弥富市にある自分の所属していた厩舎に戻り、深夜の騎乗練習をしながら免許取得への努力を重ねました。「厩舎での生活を通して、先輩騎手の指導を受け、いろいろな人たちと出会うことで競馬界で生きていくのに大事なことを学びました」と持原さん。

そして努力は実を結び、平成19年末に念願の騎手免許を取得。騎手になれたときは嬉しさが込み上げ、レースに出るのがとても待ち遠しく感じられました。厳しい勝負の世界へのデビュー戦は5着。「初騎乗ではまず完走することを考えて走りました。出来はまずまずだったと思います。夢がかない、レースで騎乗する快感はもう忘れることができません」と振り返ります。

「これまで応援し、支えてくれた皆さんのおかげでここまでこれました。まだ騎手の仲間入りをしたばかり。一勝一勝積み重ね、いつか中央競馬のレースで喝采を浴びるのが今の夢です」と持原さんはさらなる目標を目指します。

HIMAWARI

お誕生日コーナーの応募者の中で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

おめでとうおたんじょうび 3月

『たくさん歌って踊れるよ』

覚えた童謡を元気いっぱい歌えるはーちゃん。「かえるの歌」や「ちょうちょ」はお手の物。最近流行の歌は、振り付きで踊って歌えるんだって。おもちゃのピアノを、とっても上手に弾けるはーちゃんに「このまま健康で元気な子でいてね」とお父さん。

三浦春奈ちゃん（明知上）
平成17年3月9日生
父・勝さん　母・容子さん

『オリジナルマイソングでダンス』

ちょっとおてんばなまはなちゃん。幸史朗お兄ちゃんと一緒に元気いっぱい。オリジナルの歌や踊りでみんなを楽しませてくれるんだ。クラシックだって口ずさめるよ。一人でお化粧ができるまはなちゃんに「健康第一で素直な優しい子になってね」とお母さん。

梅田真花ちゃん（三好丘旭）
平成18年3月21日生
父・幸彦さん　母・清美さん

出場者募集

【5月のお誕生日コーナー】
▼応募期間＝4月1日から3日まで
▼対象＝5月生まれで3歳未満の児
▼応募方法＝秘書広報課へ電話で☎(32)8357
※3月生まれの応募は、11人でした。（抽選により掲載決定）

広報クイズ

問　次の図で■色のマスのどこかに宝が一つずつ隠されています。各数字は、そのマスのすぐ隣（縦、横）にある、宝のあるマスの数を示しています（数字のあるマスには宝はありません）。さて宝のあるマスは最低いくつあるでしょう。

2			
	3		3
	2		
2			1

【応募方法】①答え②郵便番号③住所④氏名（ふりがな）⑤年齢⑥電話番号⑦広報みよしに対する意見、感想を記入し、はがき、ファクス、または電子メールで秘書広報課へお送りください。正解者の中から抽選で10人に、図書カード500円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】
はがき…〒470-0295
三好町役場秘書広報課（住所の記入不要）
ファクス…FAX(34)6008
電子メール…✉hisyokoho@town.aichi-miyoshi.lg.jp

【締め切り】3月11日（火）必着

【2月号の正解と当選者】答え：**1（サイコロは対面の数字を足すと7になることから、上面は順に1→2→6→5→3→2→1→5→4→2→1となる）**（全22通正解20通）宇野晃典、大塚なつみ、大室善友、川原恵治、木村安里沙、酒井照二、谷宏之、長岡雅敏、波多野隆明、平井康夫（敬称略）

※ご応募いただいた個人情報は、抽選以外の目的では使用しません。抽選後は破棄します。

すてきな校歌が完成

黒笹小学校校歌発表会

平成19年度に開校した黒笹小学校の校歌発表会が2月14日、黒笹小学校で行われました。杉岡嘉彰校歌制定委員会委員長のあいさつの後、作詞・作曲者の芹川友紀さんと編曲者の富澤裕さんが、校歌完成までのエピソードを紹介。芹川さんが歌詞を朗読し「地区名や子どもたちの輝いている姿などをイメージしました」と校歌に込めた思いを話しました。そして全校生徒640人で校歌を斉唱。元気な歌声が体育館に響きました。

芹川友紀さん

笑顔が優しくなれる秘けつ

みよし悠学カレッジ一般公開講座

みよし悠学カレッジ一般公開講座が2月9日、サンアートで開催されました。「～やさしい言葉とほほ笑み～和顔愛語」と題したこの講演には、およそ220人が来場。専業主婦から尼僧へ転身した浄土宗尼僧の小林良正さんが、「日ごろから笑顔で、あいさつや感謝の気持ちを声に出すことが、優しくなれる秘けつです」と話しました。客席に下りて語り掛ける楽しく元気な講話に、会場は最後まで笑い声が絶えませんでした。

夢いっぱいの世界

親子講座「くりくりショー」

盛りだくさんの出し物で人気の「くりくりショー」が2月15日、サンアートで行われました。未就園児とその保護者に楽しんでもらおうと三好町女性団体連絡協議会が企画。町内外で活躍する「くりくりワールド」の2人がマジックやミニシアター、歌と手遊びなど夢いっぱいのショーを繰り広げ、親子89組からは笑顔があふれました。母親の一人は「お馴染みの歌や人形も出てきて、子どもといっぱい楽しみました」と満足そうでした。

天まで揚がれ

たこ揚げ大会（南中学校）

開校以来、今年で24回目となる恒例のたこ揚げ大会が2月13日、南中学校で行われました。総合学習の時間を利用して、生徒が一人2つずつ作ったたこを連ねて、各クラスごとに連だこを製作。あいにくの強風にもかかわらず、クラス全員で力を合わせて、連だこを大空高く揚げていました。生徒の一人は「自分の作ったたこが無事に揚がってよかった」とうれしそうに風を受けて青空に舞い上がる連だこを見上げていました。

親子で楽しく触れ合う

いきいき子育て講座（東山幼稚園）

いきいき子育て講座「親と子の集い」が2月9日、総合体育館で行われました。さまざまな運動を通して、親子で触れ合ってもらおうと東山幼稚園の親子156組が参加。リージョンスポーツクラブ体育指導員の葛西（かさい）優利（まさとし）さんが講師を務め、おんぶや抱っこのバランス遊びなど体を使って気軽にできる運動を楽しみました。参加したお父さんは「体だけでたくさん遊べ、家でもまた子どもとやってみます」と満足そうでした。

こつは木に愛着を持つこと

柿せん定講習会

柿せん定講習会が2月4日、明知地内の柿畑で開かれました。枝や果実の成長を促し、病害虫の発生を防ぐためのせん定技術を、一般の人にも気軽に学んでもらおうと行われたこの講習会。営農専門技術員の小野信行さんを講師に迎え、30人が参加しました。「良い木を育てるには、木に愛着を持つことが大切」などの説明を聞いた後、のこぎりとせん定ばさみを使って実践。参加者はアドバイスを基に活発に枝にはさみを入れていました。